

応答解析詳細結果 タイプ2

■手法：地震応答解析FDELによる液状化判定（タイプ2：基盤波形（引き戻し結果））

■基準：「建築基礎構造設計指針」（日本建築学会：2001年10月）

地点名：旭市役所
 基盤に与える波形：M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
 旭余震NS基盤波形引き戻し

PL = 0.9 Dcy(建築指針) = 1.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.5 cm

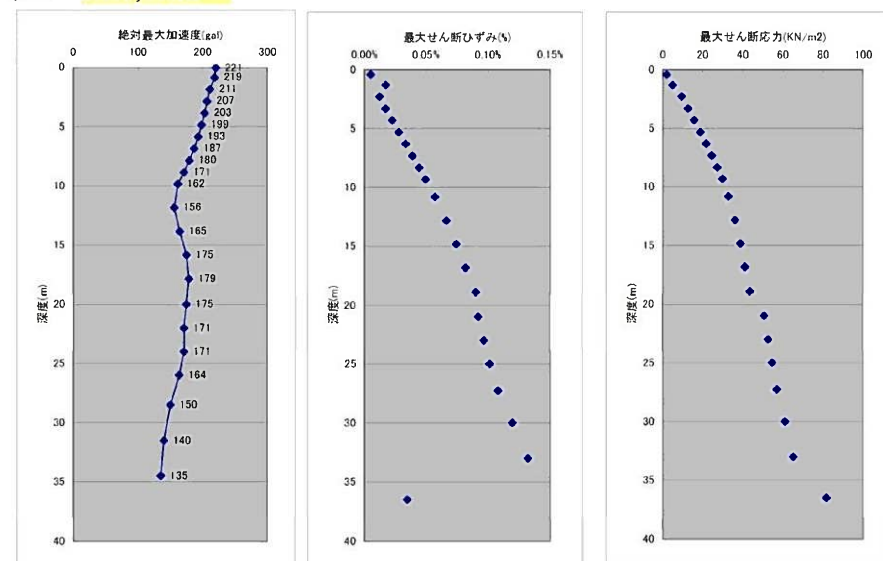
地点名	旭市役所	地震計位置	旭市役所・中央ポンプ場	PL値	0.875	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値（注）	判定外
入力波名	ASAHI-yNS-base	地盤条件	ASAHI-yNS-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より上（液状化の可能性は低い）	
基準名	建築基礎構造設計指針	地盤条件	ASAHI-yNS-base	土の単位体積重量	γ = 5 (%)	※2 $\gamma < d/\sigma' \times 0.6$ 以下である（液状化の可能性は低い）	
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	地盤条件	ASAHI-yNS-base	基礎加速度	125.67 (gal)	※3 $F_v \sim \angle N$ グラフ範囲外（液状化の可能性は低い）	
	Fe > 50%の取扱い	地盤条件	ASAHI-yNS-base	補正係数	1.000	※4 全土層にまたは有効土層に0.0以下となる層である	
		地盤条件	ASAHI-yNS-base	地下水位面	1.85 (m)		

地点名：飯岡支所
 基盤に与える波形：M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
 飯岡本震EW基盤波形引き戻し

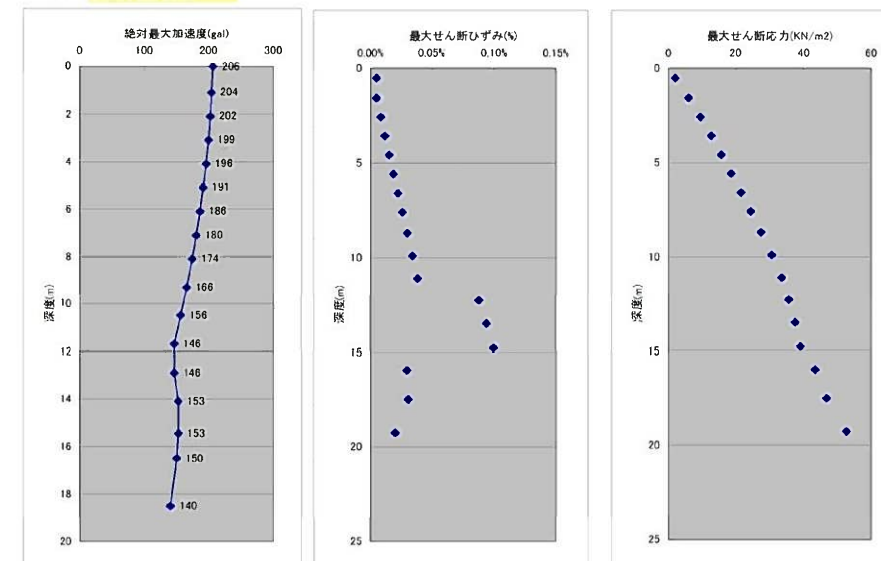
PL = 3.0 Dcy(建築指針) = 1.1 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.6 cm

地点名	飯岡支所	地震計位置	飯岡支所	PL値	3.038	せん断応力：判定深さが含まれる層（中心）の値（注）	判定外
入力波名	飯岡本震	地盤条件	飯岡本震	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より上（液状化の可能性は低い）	
基準名	建築基礎構造設計指針	地盤条件	飯岡本震	土の単位体積重量	γ = 5 (%)	※2 $\gamma < d/\sigma' \times 0.6$ 以下である（液状化の可能性は低い）	
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	地盤条件	飯岡本震	基礎加速度	127.56 (gal)	※3 $F_v \sim \angle N$ グラフ範囲外（液状化の可能性は低い）	
	Fe > 50%の取扱い	地盤条件	飯岡本震	補正係数	1.000	※4 全土層にまたは有効土層に0.0以下となる層である	
		地盤条件	飯岡本震	地下水位面	1.10 (m)		

最大応答値深度分布図
 ケース ASAHI yNS base



最大応答値深度分布図
 ケース IIOKA EW base



地点名：海上支所
 基盤に与える波形：M 7.7, $\alpha_{max}=173gal$
 海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 0.0 Dcy(建築指針) = 0.0 cm Dcy(高压ガス指針) = 0.3 cm

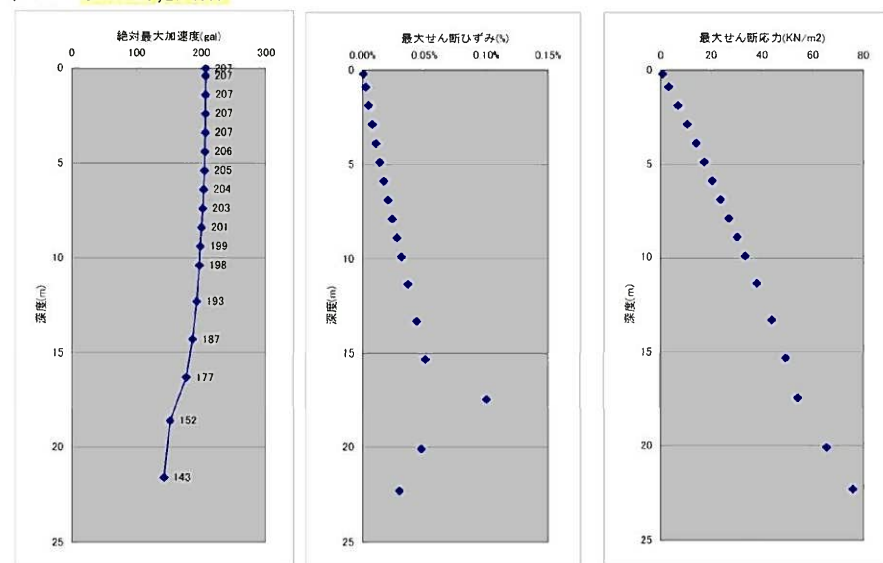
地点名 人力波名	地質計位置・海上支所 UNAKAMI-yEW-base	P1値 水の単位体積重量 土載荷重 使用曲線 基礎加速度 マツニチュード 補正係数	0.000 10.0 (kN/m³) 0.0 (kN/m³) γ = 5 (%) 133.70 (gal) 7.7 1.000	せん断応力：判定深さに含まれる層（中心）の値 (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\pm d/a$ より0.02以下である(液状化の可能性は低い) **3 $Fe \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である 地下水位面 0.00 (m)
基準名 判定方法 Fe>50%の取扱い	建築基礎構造設計指針 各層毎のせん断応力と、実測N値 △N=11一定とする			

地点名：干潟支所
 基盤に与える波形：M 9.0, $\alpha_{max}=238gal$
 干潟本震EW基盤波形引き戻し

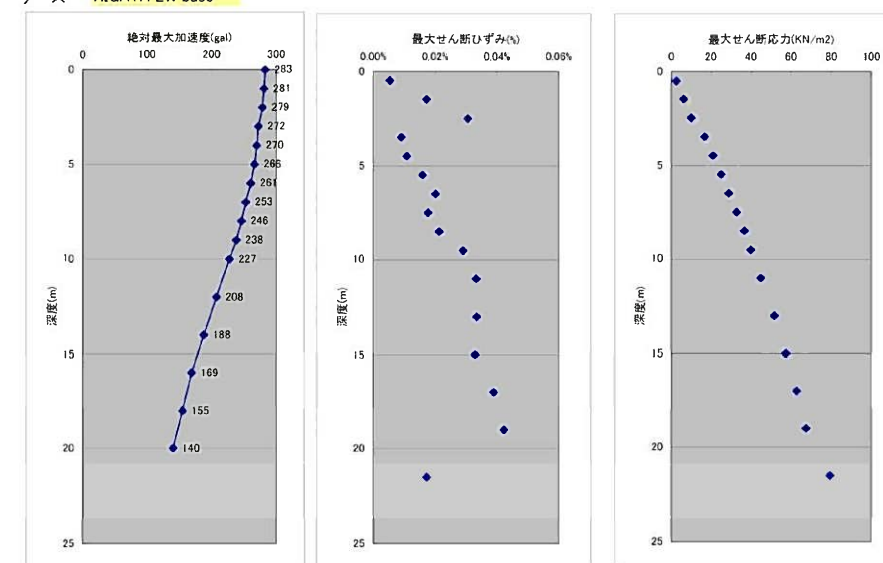
PL = 11.7 Dcy(建築指針) = 2.5 cm Dcy(高压ガス指針) = 8.2 cm

地点名 人力波名	地質計位置・干潟支所 HIGATA-EW-base	P1値 水の単位体積重量 土載荷重 使用曲線 基礎加速度 マツニチュード 補正係数	11.722 10.0 (kN/m³) 0.0 (kN/m³) γ = 5 (%) 133.70 (gal) 9.0 1.000	せん断応力：判定深さに含まれる層（中心）の値 (注) 判定外 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い) **2 $\pm d/a$ より0.02以下である(液状化の可能性は低い) **3 $Fe \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い) **4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である 地下水位面 0.00 (m)
基準名 判定方法 Fe>50%の取扱い	建築基礎構造設計指針 各層毎のせん断応力と、実測N値 △N=11一定とする			

最大応答値深度分布図
 ケース UNAKAMI yEW base



最大応答値深度分布図
 ケース HIGATA EW base



地点名：旭中央病院
 基盤に
 与える波形：M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
 旭余震NS基盤波形引き戻し

PL = 6.2 Dcy(建築指針) = 2.1 cm Dcy(高压ガス指針) = 4.4 cm

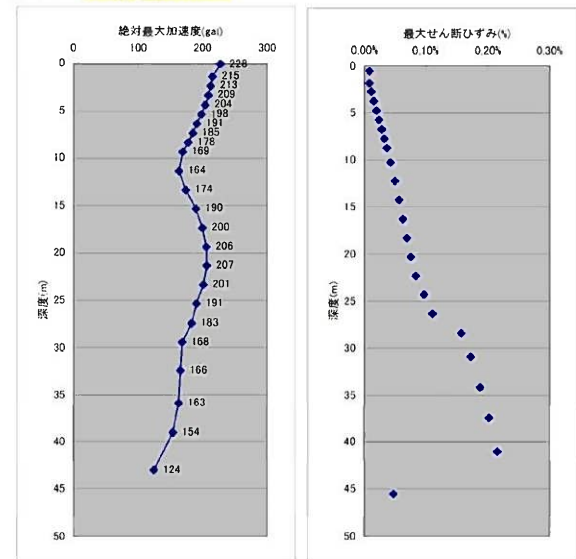
地点名 被害部屋数集域_旭_内務測_中央病院B-1
 入力波名 ASAH1-yNS-base
 基準名 建築基礎構造設計指針
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値
 $Fe > 50\%$ の取扱い、 $\angle N = 11$ 一定とする

P1. 諸
 水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)
 土載荷重 0.0 (kN/m²)
 使用曲線 $\gamma = 5$ (%)
 基礎加振数 122.18 (rad/s)
 ヲグニテュード 7.7
 補正係数 1.000

せん断応力：判定深さが含まれる層(中心)の値
 (注) 判定名
 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
 **2 $d/a \leq 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
 **3 $Fe \sim \angle N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
 **4 全土載荷重または有効土載荷重が0.0以下となる層である
 地下水位面 0.00 (m)

階	深さ	層厚	土質種類	N値	土質特性										地盤応答係数				液状化の判定										判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					相対密度	液状化	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力		せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん断力	せん

最大応答値深度分布図
 ケース ASAHI yEW base



地点名：日の出保育所
 基盤に
 与える波形：M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
 旭余震NS基盤波形引き戻し

PL = 12.5 Dcy(建築指針) = 22.5 cm Dcy(高压ガス指針) = 8.5 cm

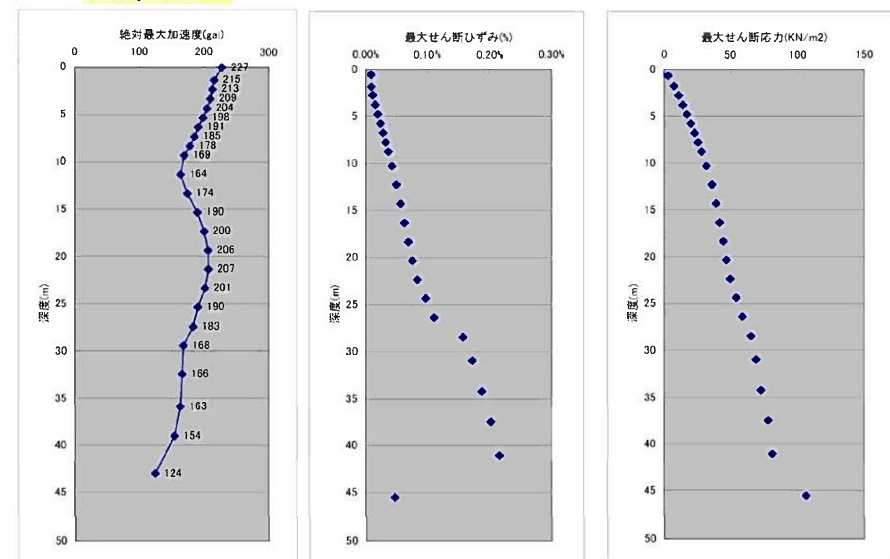
地点名 被害部屋数集域_旭_砂原地区
 入力波名 ASAH1-yNS-base
 基準名 建築基礎構造設計指針
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値
 $Fe > 50\%$ の取扱い、 $\angle N = 11$ 一定とする

P1. 諸
 水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)
 土載荷重 0.0 (kN/m²)
 使用曲線 $\gamma = 5$ (%)
 基礎加振数 122.18 (rad/s)
 ヲグニテュード 7.7
 補正係数 1.000

せん断応力：判定深さが含まれる層(中心)の値
 (注) 判定名
 **1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
 **2 $d/a \leq 0.05$ 以下である(液状化の可能性は低い)
 **3 $Fe \sim \angle N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
 **4 全土載荷重または有効土載荷重が0.0以下となる層である
 地下水位面 1.30 (m)

階	深さ	土質	土質 分類	N 値	土 質 特 性										地盤応答係数				液状化の判定				判 定																																																																																																																																																																																			
					相対密度 D _r (%)	液状化 判定	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)		せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _v (kN/m ²)	せん断力 σ _{v</}

最大応答値深度分布図
 ケース ASAHI yNS base



地点名：津波避難タワー
 基盤に
 与える波形： M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
 飯岡本震EW基盤波形引き戻し

PL = 17.9 Dcy(建築指針) = 19.7 cm Dcy(高圧ガス指針) = 15.9 cm

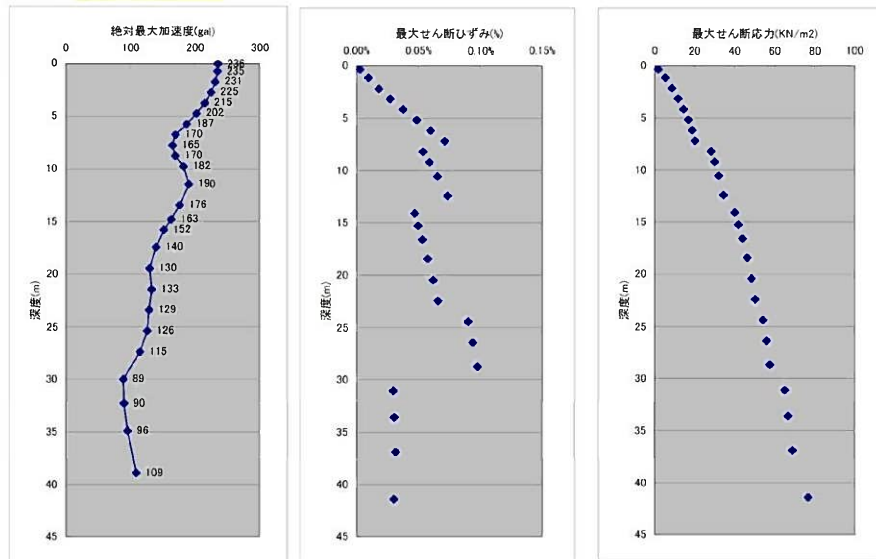
地点名：HB-S-1
 基盤に
 与える波形： M 7.7, $\alpha_{max}=173gal$
 海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 13.9 Dcy(建築指針) = 7.9 cm Dcy(高圧ガス指針) = 10.4 cm

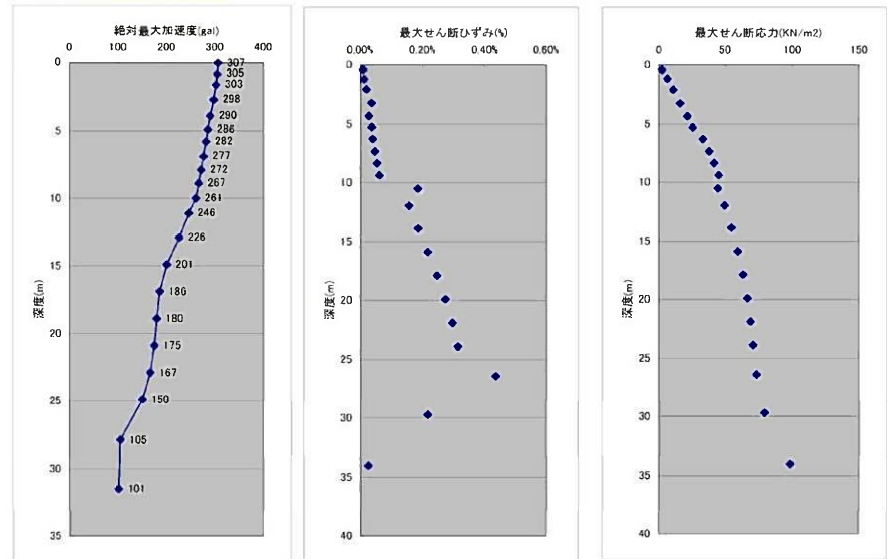
地点名	津波避難タワー	PL値	17.869	せん断応力：判定値が含まれる層（中心）の値
入力数値	IIOKA-EW-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土のせん断力	0.0 (kN/m ²)	※1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	※2 $d/\sigma'v \leq 0.01$ 以下である(液状化の可能性は低い)
	$\gamma > 50\%$ の取扱い、 $\angle N = 11$ 一定とする	基礎加速度	91.26 (gal)	※3 $Fe \sim \angle N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	9.0	※4 全土域または有効土域圧が0.0以下となる層である
		修正係数	1.000	地下水位面 1.72 (m)

地点名	HB-S-1	PL値	13.856	せん断応力：判定値が含まれる層（中心）の値
入力数値	UNAKAMI-yEW-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土のせん断力	0.0 (kN/m ²)	※1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	※2 $d/\sigma'v \leq 0.01$ 以下である(液状化の可能性は低い)
	$\gamma > 50\%$ の取扱い、 $\angle N = 11$ 一定とする	基礎加速度	113.19 (gal)	※3 $Fe \sim \angle N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	7.7	※4 全土域または有効土域圧が0.0以下となる層である
		修正係数	1.000	地下水位面 1.60 (m)

最大応答値深度分布図
 ケース IIOKA EW base



最大応答値深度分布図
 ケース UNAKAMI yEW base



基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{\max}=173\text{gal}$
海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 21.4 Dcy(建築指針) = 31.2 cm Dcy(高圧ガス指針) = 11.8 cm

基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{\max}=173\text{gal}$
海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 24.5 Dcy (建築指針) = 27.0 cm Dcy (高圧ガス指針) = 16.8 cm

地名	HP-1
人力波名	UWAKAMI-yEW-tase
基準名	建築基礎構造設計指針
判定方法	各層柱のせん断応力と、'実測N値
Fe>50%の取扱い	$\Delta N_f = 1$ —定とする

1.1. 値	21.403
水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)
上被荷重	0.0 (kN/m ²)
使用曲線	$\gamma = 5$ (%)
風雲加速度	131.98 (gal)
ツグニチュード	7.7
補正係数	1.000

せん断応力: 拘定深さに含まれる層 (中心) の直
(注) 判定外

- ※1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
- ※2 σ_v/σ'_v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
- ※3 $F_v \times \Delta T$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
- ※4 全土被圧または有効土被圧が0.0以下となる層である

地下水位 1.90 (m)

[illegible]

地点名	HB-2
入力波名	UNAKAMI-γEW-base

基準名	建築基礎構造設計指針
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値
$F_c > 50\%$ の取扱い	$\Delta N = 11$ 一定とする

1.1. 値	21.479
水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)
土圧荷重	0.0 (kN/m ²)
使用曲線	$\gamma = 5$ (%)
坂盤加速度	140.27 (gal)
マクニチα-ド	7.7
補正係数	1.000

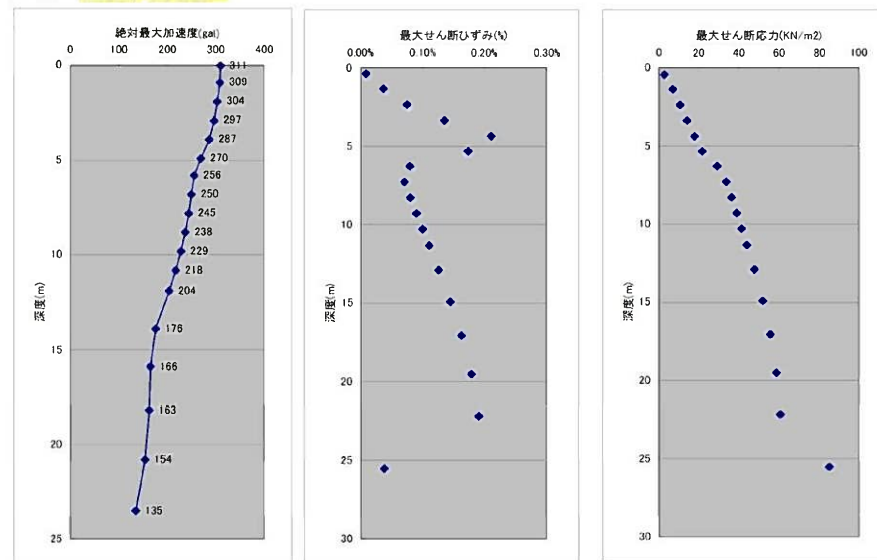
せん断応力：固定深さが含まれる層（中心）の値
（注） 固定外

- **1 地下水位より上（液状化の可能性は低い）
- **2 $\sigma'_{vm}/\sigma'_{vm0}$ が0.0以下である（液状化の可能性は低い）
- **3 $E_r \sim \Delta E$ がグラブ範囲外（液状化の可能性は低い）
- **4 全土被圧または有効土被圧が0.0以下となる層である

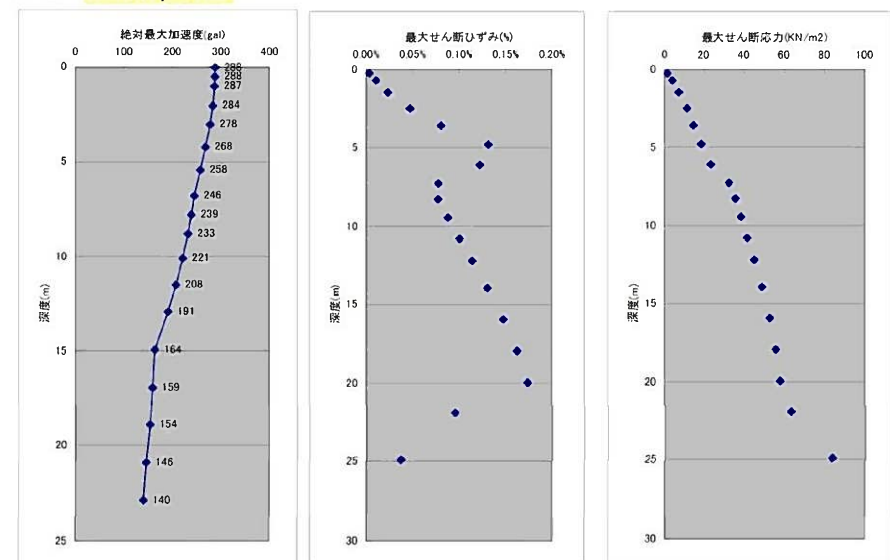
地下水位面 2.03 (m)

[illegible]

最大応答値深度分布図
ケース unakami yEW base



最大応答値深度分布図
ケース UNAKAMI yEW base



基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{\max}=173\text{gal}$
海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 16.6 Dcy (建築指針) = 27.0 cm Dcy (高圧ガス指針) = 10.8 cm

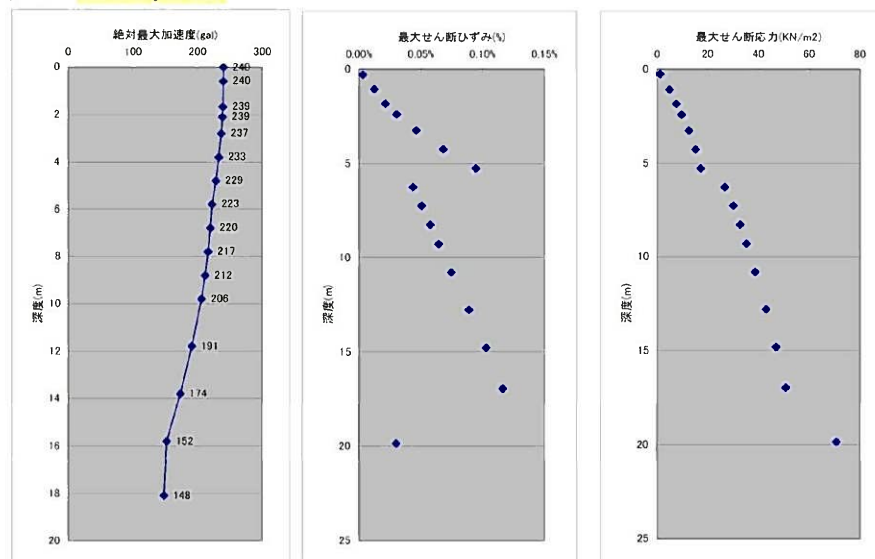
基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{\max}=173\text{gal}$
海上余震EW基盤波形引き戻し

PL = 8.8 Dcy (建築指針) = 7.0 cm Dcy (高圧ガス指針) = 7.6 cm

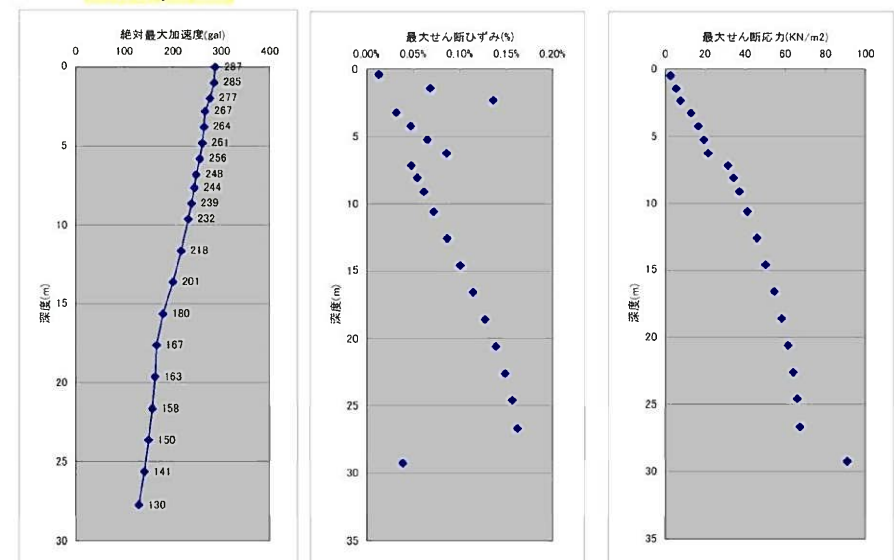
[illegible]

地点名	1K-1	P.L.値	S.822	せん断応力：埋設位置に含まれる層（中心）の値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
人力点名	USAKAWA-YEHO-kawo	水単位の体積重量 土被覆重	10.0 (N/cm ²) 0.0 (N/cm ²)	判定名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
基準名	建築基礎設計指針	使用面	γ = 5 (gall)	※1 地1層より上（液状化の可能性は低い） ※2 d/φ < 0.7以下である（液状化の可能性は低い） ※3 10〜20cmのラバー層がある（液状化の可能性は低い） ※4 土に根はまたは有物土根はあり、以下となる層である																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
判定方法	F>50%の取扱い、 △N1=1一定とする	埋設位置 マッシュボード 圧入係数	7.7 1.000	地下水位面 0.97m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
土 質 特 性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
地 層	層 厚	土 質 名	相対密度 Dr (%)	孔内土質 記号	標準貫入 値 N1 (gall)	自由土質 記号	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数	せん断力 係数

最大応答値深度分布図
ケース UNAKAMI yEW base



最大応答値深度分布図
ケース UNAKAMI yEW base



地点名: HA-1

基盤に
与える波形: M 9.0, $\alpha_{max}=162\text{gal}$
飯岡本震EW基盤波形引き戻し

PL = 9.7 Dcy(建築指針) = 13.9 cm Dcy(高压ガス指針) = 6.4 cm

地点名	HA-1	PL値	9.740	せん断応力: 判定値が含まれる層(中心)の値
入力波名	IIOKA-EW-base	(注) 判定値	10.0 (kN/m ²)	
		土最高重量	0.0 (kN/m ²)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基盤加速度	108.03 (gal)	**2 σ_d/σ'_v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
	$F_a > 50\%$ の取扱い	マグニチュード	9.0	**3 $F_a \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
	$\Delta N = 11$ 一定とする	補正係数	1.000	**4 全土域にまたは有効土域に σ'_v が0.0以下となる層である
		地下水位面	2.30 (m)	

土 質 特 性												液状化の判定												
深さ	層	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	判定	
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
0.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
1.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
2.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
3.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
4.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
5.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
6.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
7.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
8.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
9.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
10.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定

地点名: HA-2

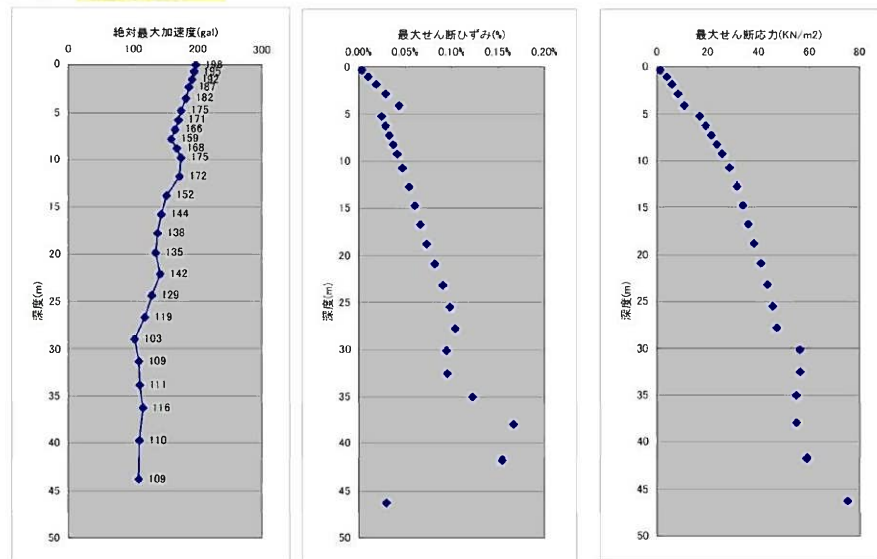
基盤に
与える波形: M 9.0, $\alpha_{max}=162\text{gal}$
飯岡本震EW基盤波形引き戻し

PL = 5.9 Dcy(建築指針) = 7.6 cm Dcy(高压ガス指針) = 3.2 cm

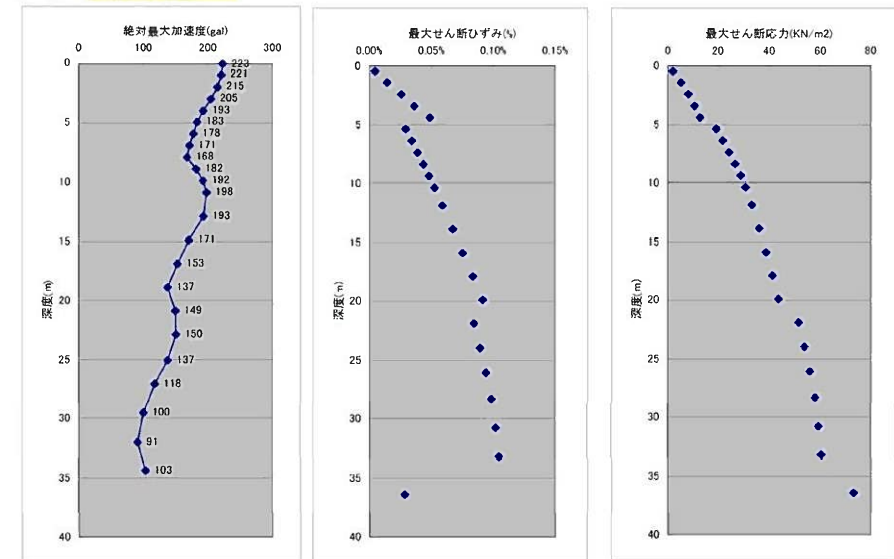
地点名	HA-2	PL値	5.880	せん断応力: 判定値が含まれる層(中心)の値
入力波名	IIOKA-EW-base	(注) 判定値	10.0 (kN/m ²)	
		土最高重量	0.0 (kN/m ²)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基盤加速度	104.81 (gal)	**2 σ_d/σ'_v が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
	$F_a > 50\%$ の取扱い	マグニチュード	9.0	**3 $F_a \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
	$\Delta N = 11$ 一定とする	補正係数	1.000	**4 全土域にまたは有効土域に σ'_v が0.0以下となる層である
		地下水位面	2.50 (m)	

土 質 特 性												液状化の判定												
深さ	層	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	最大	判定	
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
0.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
1.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
2.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
3.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
4.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
5.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
6.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
7.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
8.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
9.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定
10.0	0.0	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	砂質土	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	134.8	0.000	4.4	判定

最大応答値深度分布図
ケース IIOKA EW base



最大応答値深度分布図
ケース IIOKA EW base



地点名: NK-1

基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
旭余震NS基盤波形引き戻し

PL = 6.9 Dcy(建築指針) = 3.1 cm Dcy(高压ガス指針) = 3.8 cm

地点名 NK-1
入力表名 ASAH1-yNS-base

基準名 建築基礎構造設計指針
判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値
補正係数 $\Delta N=11$ 一定とする

P1値 6.872
水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)
土載荷重 0.0 (kN/m²)
使用曲線 $\gamma=5$ (%)
基礎加速度 135.63 (gal)
マグニチュード 7.7
補正係数 1.000

せん断応力・判定深さが含まれる層(中心)の値
(注) 判定外
**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
**2 $\pm d/a' < 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)
**3 $F_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
**4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である
地下水位 1.20 (m)

階 数	深 さ (m)	土 層 種 別	N 値	土 質 特 性										地盤の判定		判定	
				地盤 強度 比	地盤 強度 係数	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)		
0	0.0			比	(k)	0.5 m ²	1.0 m ²	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)
10	1.20	砂質土	1.1	0.000	1.20	20.0	21.0	24.90	25.90	34.4	0.000	0.00	0.00	N値	292.9	0.012	2.8
	2.20	砂質土	15.1	0.000	2.20	14.0	14.0	33.90	34.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	194.5	0.009	11.1
	3.20	砂質土	34.1	0.000	3.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	182.9	0.011	14.5
	4.20	砂質土	43.1	0.000	4.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	192.3	0.013	17.7
	5.20	砂質土	25.1	0.000	5.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	182.9	0.012	20.7
	6.20	砂質土	22.1	0.000	6.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	182.9	0.011	23.6
	7.20	砂質土	22.1	0.000	7.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	182.9	0.011	26.4
	8.20	砂質土	41.0	0.000	8.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	172.0	0.012	29.0
	9.20	砂質土	71.0	0.000	9.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	164.9	0.014	31.2
	10.20	砂質土	10.0	0.000	10.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	162.7	0.014	33.9
11	11.20	砂質土	10.0	0.000	11.20	10.0	10.0	22.90	23.90	6.8	0.000	0.00	0.00	N値	171.8	0.013	37.0

地点名: JG-S-1

基盤に
与える波形: M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
旭余震NS基盤波形引き戻し

地点名 JG-S-1
入力表名 JSJH1-yNS-base

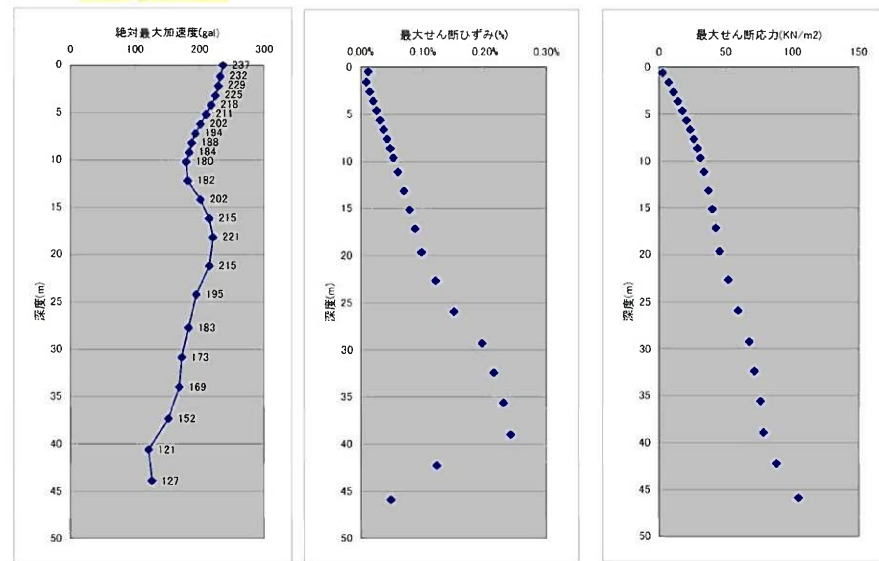
基準名 建築基礎構造設計指針
判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値
補正係数 $\Delta N=11$ 一定とする

P1値 4.485
水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)
土載荷重 0.0 (kN/m²)
使用曲線 $\gamma=5$ (%)
基礎加速度 133.35 (gal)
マグニチュード 7.7
補正係数 1.000

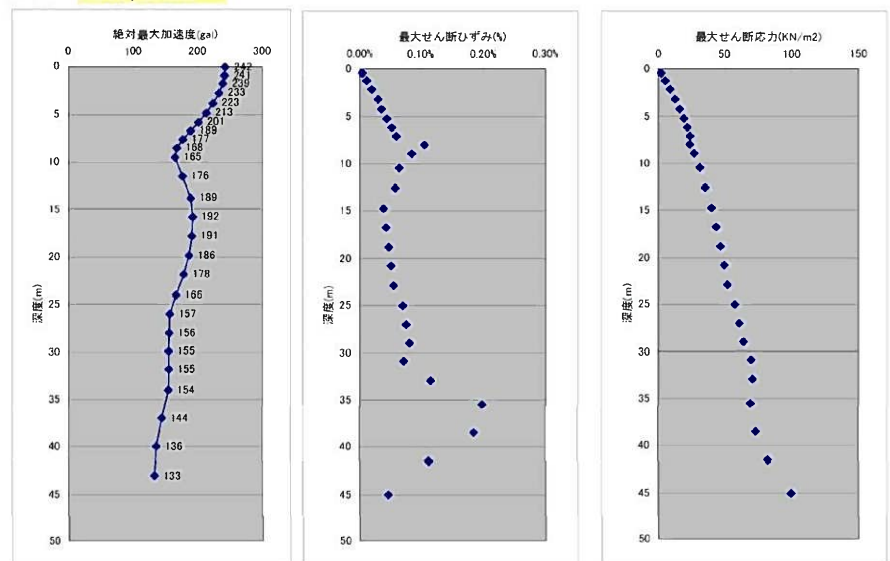
せん断応力・判定深さが含まれる層(中心)の値
(注) 判定外
**1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
**2 $\pm d/a' < 0.0$ 以下である(液状化の可能性は低い)
**3 $F_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
**4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である
地下水位 1.70 (m)

階 数	深 さ (m)	土 層 種 別	N 値	土 質 特 性										地盤の判定		判定値の判定																																																																																																																																																																																																																																																							
				地盤 強度 比	地盤 強度 係数	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)	せん 断 力 (kN/m ²)

最大応答値深度分布図
ケース ASAH1 yNS base



最大応答値深度分布図
ケース ASAH1 yNS base



地点名: NH-S-1
 基礎に与える波形: M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
 旭余震NS基盤波形引き戻し

PL = 0.8 Dcy(建築指針) = 4.3 cm Dcy(高圧ガス指針) = 3.5 cm

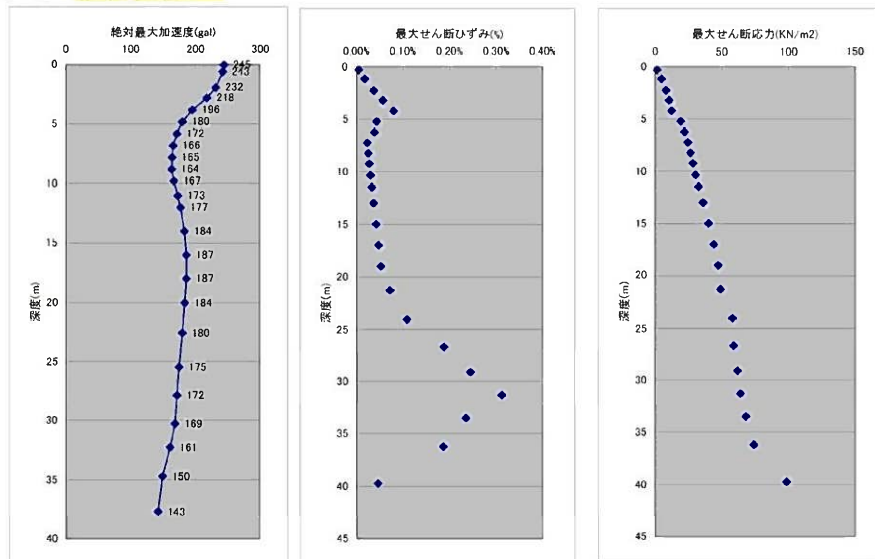
地点名	NH-S-1	PL値	0.831	せん断応力: 指定深さが含まれる層(中心)の値(注)	判定外
人力数	ASAHI-yNS-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		土載荷重	0.0 (kN/m ²)	※2 $\pm d/a^2 \times 0.03$ 以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 2$ (%)	※3 $P_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	132.32 (gal)	※4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である	
$P_c > 50\%$ の取扱い	$\Delta N = 11$ 一定とする	補正係数	1.000	地下水位面	1.31 (m)

地点名: AH-1
 基礎に与える波形: M 7.7, $\alpha_{max}=179gal$
 旭余震NS基盤波形引き戻し

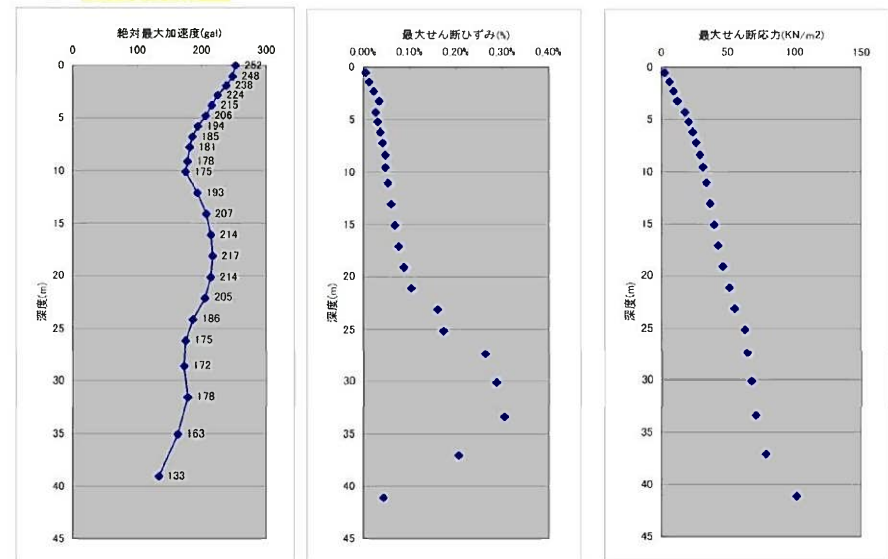
PL = 6.0 Dcy(建築指針) = 3.7 cm Dcy(高圧ガス指針) = 6.4 cm

地点名	AH-1	PL値	6.018	せん断応力: 指定深さが含まれる層(中心)の値(注)	判定外
人力数	ASAHI-yNS-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	※1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
		土載荷重	0.0 (kN/m ²)	※2 $\pm d/a^2 \times 0.03$ 以下である(液状化の可能性は低い)	
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	※3 $P_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)	
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	131.59 (gal)	※4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である	
$P_c > 50\%$ の取扱い	$\Delta N = 11$ 一定とする	補正係数	1.000	地下水位面	1.05 (m)

最大応答値深度分布図
 ケース ASAHI yNS base



最大応答値深度分布図
 ケース ASAHI yNS base



地点名：SN-S-1
 基盤に
 与える波形：M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
 福岡本震EW基盤波形引き戻し

PL = 4.4 Dcy(建築指針) = 14.9 cm Dcy(高圧ガス指針) = 8.3 cm

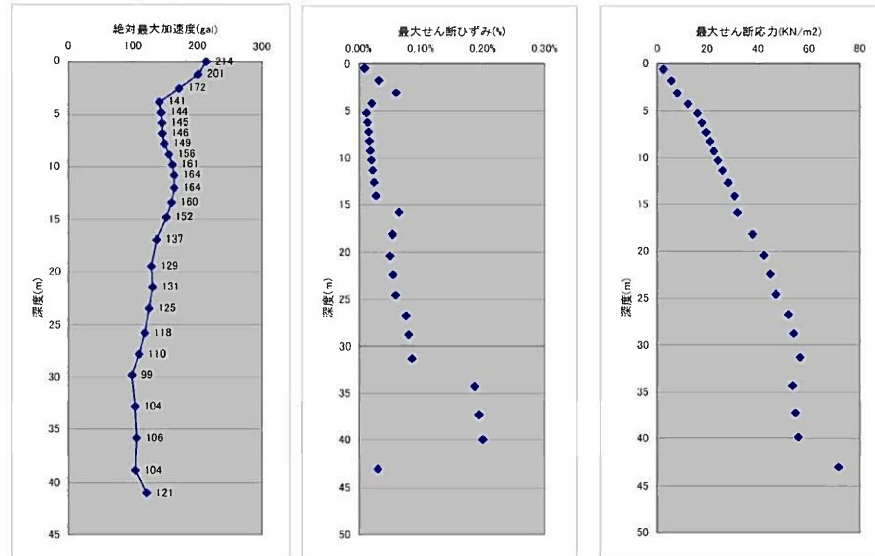
地点名	SN-S-1	P.L.値	4.330	せん断応力：判定値が含まれる層（中心）の値
人力姓名	IIOKA-EW-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	***1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	***2 d/u が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
FC>50%の取扱い		基礎加速度	107.35 (gal)	***3 $F_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	9.0	***4 全土域にまたは有効土域に0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.29 (m)

地点名：SN-S-2
 基盤に
 与える波形：M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
 福岡本震EW基盤波形引き戻し

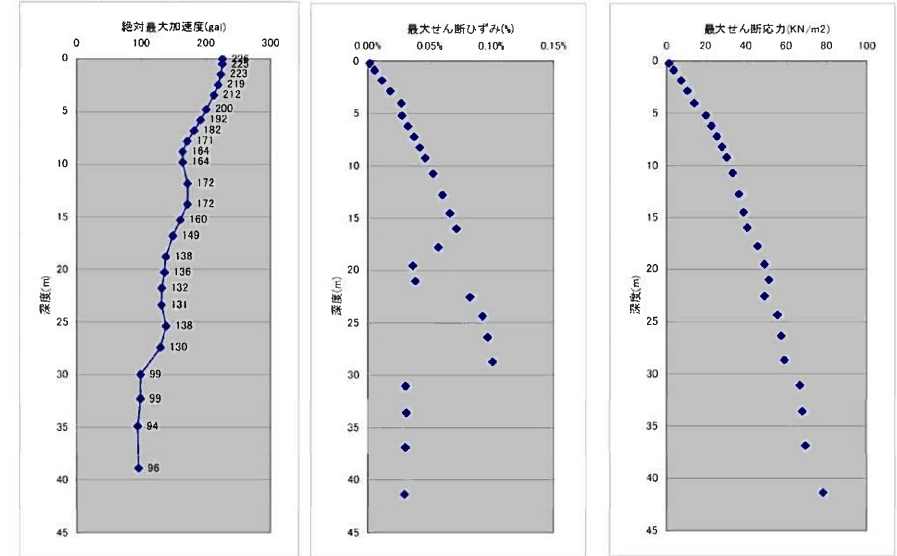
PL = 7.2 Dcy(建築指針) = 2.4 cm Dcy(高圧ガス指針) = 9.1 cm

地点名	SN-S-2	P.L.値	7.180	せん断応力：判定値が含まれる層（中心）の値
人力姓名	IIOKA-EW-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m ³)	(注) 判定外
基準名	建築基礎構造設計指針	土壌密度	0.0 (kN/m ³)	***1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	***2 d/u が0.0以下である(液状化の可能性は低い)
FC>50%の取扱い		基礎加速度	98.01 (gal)	***3 $F_c \sim \Delta N$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
		マグニチュード	9.0	***4 全土域にまたは有効土域に0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 1.13 (m)

最大応答値深度分布図
 ケース IIOKA EW base



最大応答値深度分布図
 ケース IIOKA EW base



地点名: SG-1

基盤に
与える波形: M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
飯岡本震EW基盤波形引き戻し

PL = 13.1 Dcy(建築指針) = 18.8 cm Dcy(高压ガス指針) = 8.1 cm

地点名		入力波名		地盤名		判定方法		せん断応力: 固定層が含まれる層(中心)の値(注)		せん断応力: 固定層が含まれる層(中心)の値(注)	
SG-1		IIOKA-EW-base		土質特性		建築基礎構造設計指針		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
110kA-EW-base		土質特性		建築基礎構造設計指針		各層毎のせん断応力と、実測N値		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
建築基礎構造設計指針		各層毎のせん断応力と、実測N値		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
判定方法		判定方法		判定方法		判定方法		判定方法		判定方法	
Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い	
△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする	
補正係数		補正係数		補正係数		補正係数		補正係数		補正係数	
1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
地下水位		地下水位		地下水位		地下水位		地下水位		地下水位	
2.05(m)		2.05(m)		2.05(m)		2.05(m)		2.05(m)		2.05(m)	

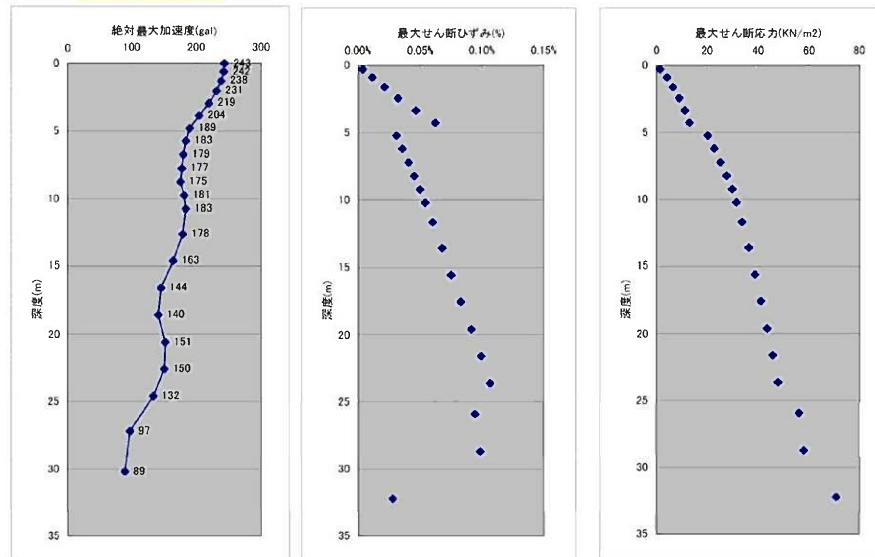
地点名: SG-2

基盤に
与える波形: M 9.0, $\alpha_{max}=162gal$
飯岡本震EW基盤波形引き戻し

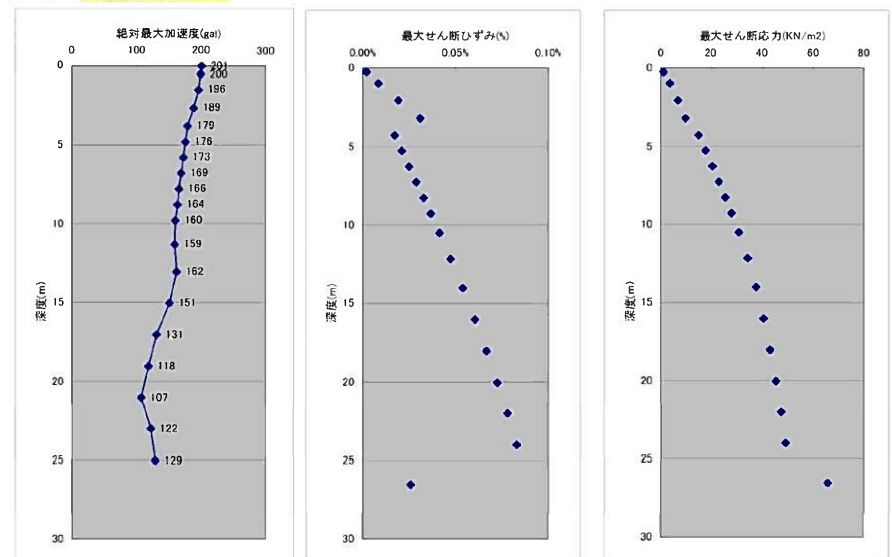
PL = 2.9 Dcy(建築指針) = 2.6 cm Dcy(高压ガス指針) = 3.1 cm

地点名		入力波名		地盤名		判定方法		せん断応力: 固定層が含まれる層(中心)の値(注)		せん断応力: 固定層が含まれる層(中心)の値(注)	
SG-2		IIOKA-EW-base		土質特性		建築基礎構造設計指針		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
110kA-EW-base		土質特性		建築基礎構造設計指針		各層毎のせん断応力と、実測N値		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
建築基礎構造設計指針		各層毎のせん断応力と、実測N値		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)		地下水位より上(液状化の可能性は低い)	
判定方法		判定方法		判定方法		判定方法		判定方法		判定方法	
Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い		Fc>50%の取扱い	
△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする		△N=11一定とする	
補正係数		補正係数		補正係数		補正係数		補正係数		補正係数	
1.000		1.000		1.000		1.000		1.000		1.000	
地下水位		地下水位		地下水位		地下水位		地下水位		地下水位	
2.66(m)		2.66(m)		2.66(m)		2.66(m)		2.66(m)		2.66(m)	

最大応答値深度分布図
ケース IIOKA EW base



最大応答値深度分布図
ケース IIOKA EW base



地点名：HG-S-1
 基礎に
 与える波形：M 9.0, $\alpha_{max}=238gal$
 新潟本震EW基礎波形引き戻し

PL = 11.0 Dcy(建築指針) = 7.2 cm Dcy(高圧ガス指針) = 13.2 cm

地点名	HG-S-1	1°L値	10.986	せん断応力：判定間さが含まれる層（中心）の値
入力波名	HIGATA-BH-base	水の単位体積重量	10.0 (kN/m³)	(注) 判定外
		土載荷重	0.0 (kN/m²)	***1 地下水位より上(液状化の可能性は低い)
基準名	建築基礎構造設計指針	使用曲線	$\gamma = 5$ (%)	***2 $d/a \leq 0.01$ である(液状化の可能性は低い)
判定方法	各層毎のせん断応力と、実測N値	基礎加速度	132.22 (gal)	***3 $d \sim 2d/a$ グラフ範囲外(液状化の可能性は低い)
Fe>50%の取扱い	$\angle N = 11$ 一定とする	マデニチュード	9.0	***4 全土載荷または有効土載荷が0.0以下となる層である
		補正係数	1.000	地下水位面 0.91 (m)

深さ (m)	層厚 (m)	土質 種類	N 値	基礎 形式 と 土 質	判定 係数	土 質 特 性										せん断 力 出 発 点 深さ (m)	判定 係数	液状化の程度					判定	
						せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)	せん断 力 出 発 点 深さ (m)									
0	0.0																							
0.31	0.01	砂質土	110			1.30	18.0	19.0								297.4								
1.00	0.69	砂質土	4.0			2.30	18.0	19.0								299.6								
2.00	0.99	砂質土	7.0			3.30	18.0	19.0								291.9								
3.00	1.00	砂質土	5.0			4.30	18.0	19.0								215.8								
4.00	1.00	砂質土	5.0			5.30	18.0	19.0								194.7								
5.00	1.00	砂質土	5.0			6.30	18.0	19.0								180.0								
6.00	1.00	砂質土	5.0			7.30	18.0	19.0								168.8								
7.00	1.00	砂質土	5.0			8.30	18.0	19.0								155.5								
8.00	1.00	砂質土	5.0			9.30	18.0	19.0								146.9								
9.00	1.00	砂質土	5.0			10.30	18.0	19.0								131.1								
10.00	1.00	砂質土	5.0			11.30	18.0	19.0								113.0								
11.00	1.00	砂質土	5.0			12.30	18.0	19.0								97.9								

最大応答値深度分布図
 ケース HIGATA EW base

